


荒井学園 高岡向陵高等学校 2023キャリアアップ・日本語 の取り組みについて

2024年8月21日（水）10:00-12:30
外国人児童生徒教育推進ユニット研修A
第3回オンライン研修・事例報告

荒井学園 高岡向陵高等学校
非常勤講師 **青木 由香**

高岡向陵高等学校について

- 富山県高岡市にある私立全日制普通科高校
- 生徒の全体的な特徴
 - 特定の部活動等に力を入れたい生徒
 - 県立に行けなかった生徒？
- 外国につながる生徒の在籍
 - 全校生徒635名（一学年に6～8学級）中、約40名（正確な把握なし）
 - 県内で最大規模の受け入れ



入試制度
の壁

高岡向陵高校でのサポート変遷

2016年 交換留学生への日本語の授業（取り出し指導）

放課後補習としての正規生への日本語サポート

2017年 部活動としての放課後補習スタート

→動画制作プロジェクト

2018年 学校設定科目「キャリアアップ」としての日本語の授業（週2h）

→2学期以降は試験の結果を国語の成績に反映？

2021年 「国語総合」「古典B」「数学Ⅱ」としての日本語の授業

（1年週4h、2-3年週2h）

2022年 「現代の国語」「古典B」としての日本語の授業

2023年 学校設定科目「キャリアアップ」としての日本語の授業

（1年なし、2年週4h、3年週2h）、1年対象放課後補習（週1h）

2024年 学校設定科目「キャリアアップ」としての日本語の授業

（2年週4h、3年週2h）、1-2年対象放課後補習（週1h）

キャリアアップ日本語

- 学校設定科目「キャリアアップ」
- 2年生 9名（2学期からは8名）
- ブラジル5名、パキスタン3名、フィリピン1名
- 日本生まれ・育ち～来日3年
- うち4名は1年時に「現代の国語」の取り出し指導、他5名は担任等からの勧め（教科学習の不振、不登校傾向等）
- 2時間×週2回（週4時間）
- 指導者2名

R5 キャリアアップシラバス (2年)

科目名	日本語		
単位数	2単位		
授業概要・到達目標	日本語が母語でなく複数言語環境にある生徒が、母語や母文化等の文化的多様性を発揮しつつ日本語を使って自分の道を切り拓くことができるようになる。また、キャリア形成を念頭に日本語の力を伸ばすことを通して社会的存在として自己認識を形成する。		
授業内容	学習計画	実施予定	実施状況
	文字	通年	
	語彙	通年	
	文法・読解	通年	
	GCE アクティビティ (Global Citizenship Education)	通年	
	JLPT (模擬) 試験	7月、12月	
履修上の注意	生徒のもつ多様な言語的、文化的な背景を把握した上で、個別最適な教育を行うこと。主体的・対話的で深い学びを実現できるようグループ編成や個別の足場かけを工夫すること。		
使用教材等	文字：アプリ「たふマルリン」「漢字検索」、小学漢字辞典 語彙：『JSL 中学高校生のための教科につなげる学習語彙・漢字ドリル』 文法・読解：『必ずできる! JLPT「読解」N2』『必ずできる! JLPT「読解」N3』『日本語総まとめ N4 文法・読解・聴解』『日本語総まとめ N5 かんじ・ことば・ぶんぼう・読む・聞く』 GCE アクティビティ：ワークシート等を都度用意		
評価方法	年間を通した目標 (JLPT) に向かって、日々の小さな目標を自分で立てて達成すること、日本語だけでなく母語や英語など総合的にことばの力を伸ばし活かすこと、仲間との助け合いや学び合いを通して切磋琢磨する態度を大きく評価する。		
	知・技	思・判・表	主体的な態度
	文字・語彙・文法の学習進捗状況	文法・読解学習のグループワークにおけるディスカッションの様子 アクティビティへの取り組みの様子 (成果物、発表)	グループワークへの取り組みの様子 (進んで学ぼうとする姿勢・意欲、他者と助け合い、学び合おうとする態度)
評価比	3	3	4
平常点：考查点	3:1 ※考查点は JLPT (7月・12月) の結果とする。受検 (有料) は任意のため、不受検者は校内で模擬試験を実施する。7月受検の結果は2学期に、12月受検の結果は3学期に反映。1学期末は模擬試験のみ。		

2023年1学期

レベルがバラバラなので
漢字、語彙、文法・読解の
一斉授業ができません

- **漢字**：漢字辞典を使って部首ごとに漢字と漢字語彙を調べるワーク、漢字学習アプリ「たふマルリン」
 - 部首調べはロイロノートでお互いのワークシートを共有
- **語彙**：『教科につなげる学習語彙ドリル』ポルトガル語／英語
 - 同じ言語同士で集まって答え合わせ、翌週ロイロノートで復習テスト（翻訳付き）
- **文法・読解**：『にほんごチャレンジN4文法・読解』 『必ずできるJLPT読解N3』 『必ずできるJLPT読解N2』
 - 同じレベル（テキスト）同士で集まって、話し合いながら解く
- **自分を見つめるアクティビティ**：マインドマップ、言語ポートレート
 - 個人作業の後、発表（ただし、各回漢字等の個人課題を終えた人のみが行う）

2 学期のはじめの話し合い

- 何をやっているか意味がわからない
- iPadですべてやろうとしているが、何も覚えられない
- みんなが同じことをすれば、もっと覚えられることも多い
- 2グループくらいで話し合う方がよい
- 授業でもっと覚えた日本語を使いたい
- 漢字の学習は宿題でよい



痛烈な批判

学校生活を見つめる

- 授業やテストにおける困難や不満
 - iPad使用の是非
 - 教材がわかりにくい
 - 先生の話す言葉がわからない
 - ただひたすら書き写す課題の意味？
- 学校生活における教師への不信感
 - 「わからない」ことで怒られる
 - 差別がひどい
 - 先生たちはわかってくれない・変わってくれない
- 日常生活での困り感
 - 駅で切符をどうやって買う？ etc.

とにかく生徒の意見を
ひたすらきいて...

← 目標設定

目標への道のりを考える

●テーマ：先生たちに私たちのことをわかってもらうにはどうしたらいいか？

- 自分の意見をはっきり言う→「はっきり」とは？
- 説得力を高める→「説得力」とは？「説得力を高める」ためには？

「要望書」
を作る

●理不尽な現実に対応するか？

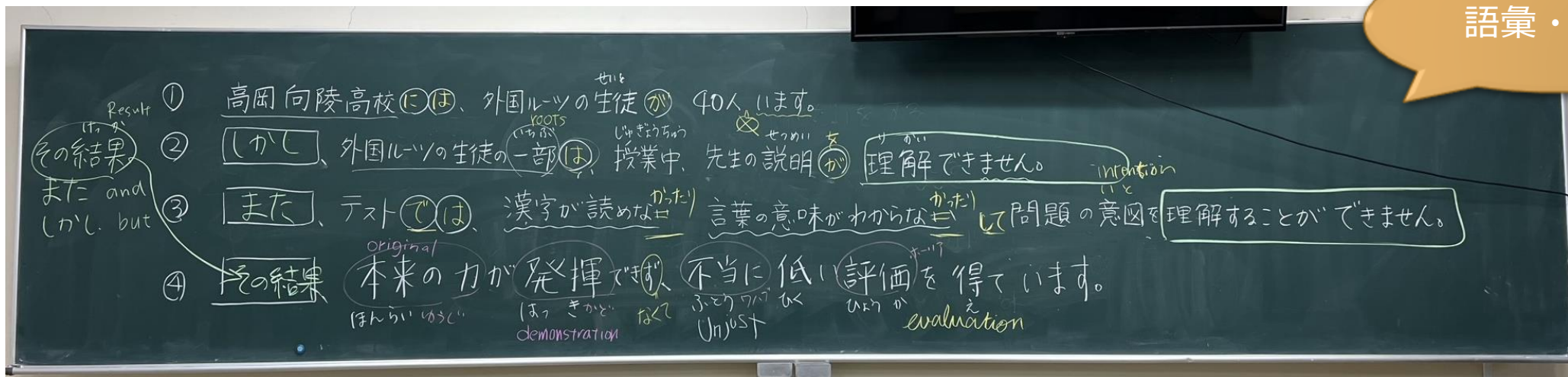
- 変えられること、変えられないこと
- お互いに尊重し、自分も変わる

辿ってきた議論の
道筋を見える化



要望書作成の中での日本語指導

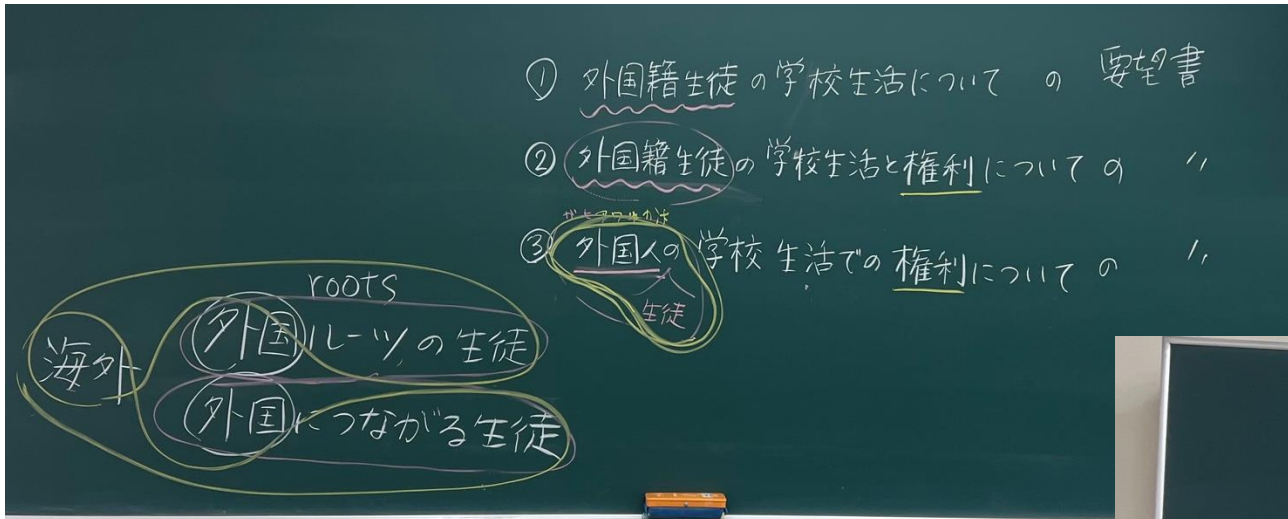
語彙・文法



語彙・漢字

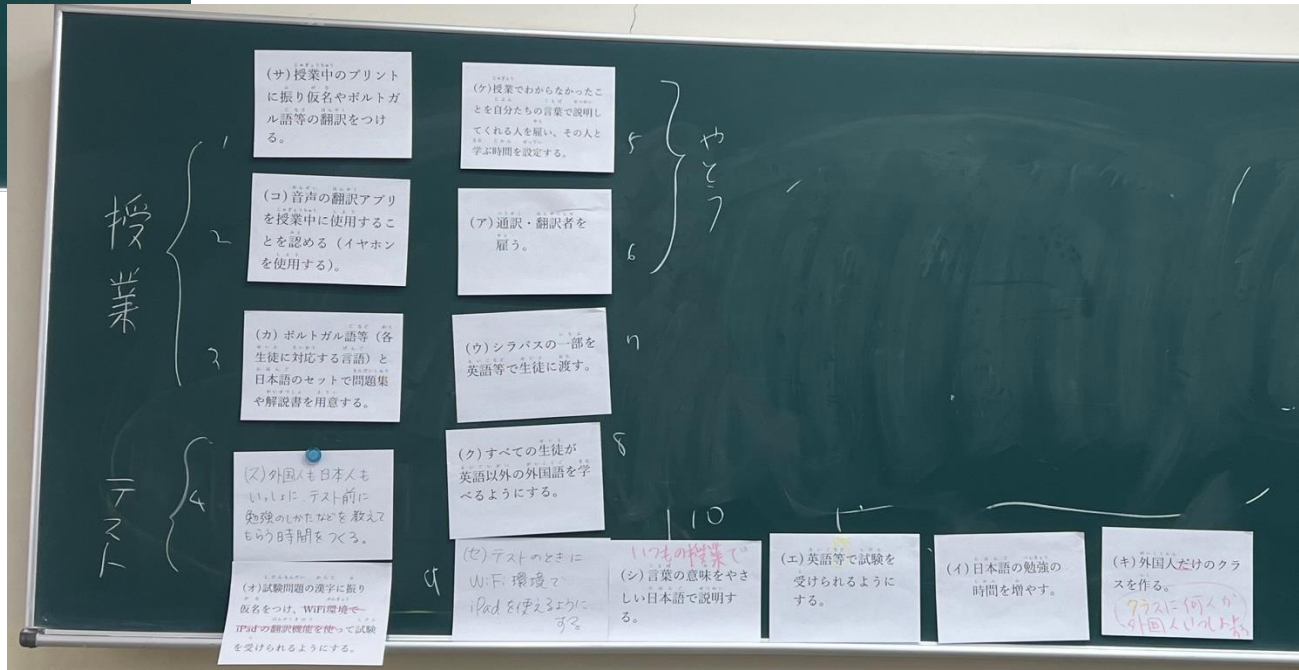


要望書作成の中での日本語指導



要望書のタイトル
を考える

要望の内容を整理する
(カテゴリー化)



高岡向陵高校校長 松原肇 様

2年2組	2年1組	2年2組
2年2組	2年1組	2年2組
2年1組	2年3組	

外国人生徒の学校生活での権利についての要望書

要望書提出

達成感

1年めっちゃ楽しかったです

ようぼうしょをだせてよかったです

よかったー！

がんばった

私たちのためにできることがたくさんあることがわかりました

人っているんなかんがえや思いをもっているということをわかりました

自分たちの代で叶わなくても後輩たちのために

要望書のおかげで学校が変わって、この高校に入りたいという人が増えるといい

1. 要望の趣旨

高岡向陵高校には、外国人の生徒が約40人います。しかし、外国人生徒の一部は、授業中、先生の説明が理解できません。また、テストでは、漢字が読めなかったり言葉の意味がわからなかったりして、問題の意図を理解することができません。その結果、本来の力が発揮できず、不当に低い評価を得ています。

2. 要望の理由

- 第二言語である日本語で教科の学習をするためには、日本語の学習言語の力が必要です。しかし、学習言語の習得には、適切なサポートがあっても5~7年かかると言われています。5~7年も不利な状況で学び続けているにもかかわらず、外国人生徒には十分なサポートや配慮がありません。
- 外国人生徒の多くは、学校では日本語を使っていますが、家庭では日本語以外の言語を使っています。そのため、日本人家庭で自然に学ぶような日本語の表現や言葉遣いを知りません。また、日本の学校での学習について、家庭でのサポートを受けることができません。
- 高岡向陵高校には、多くの外国人生徒がいますが、日本人生徒を前提とした指導方法や評価方法しか用いられていません。外国人生徒は日本語以外の言語の力を持っていますが、学校ではその力を活かすこともできません。

※日本人…日本語を母語とし、家庭でも日本語が使われ、家族の日本語のサポートを受けられる人

3. 要望の詳細

授業での配慮について

- 授業中のプリントに振り仮名やポルトガル語等の翻訳をつける。
- 音声の翻訳アプリを授業中に使用することを認める（イヤホンを使用する）。
- ポルトガル語等（各生徒に対応する言語）と日本語のセットで問題集や解説書を用意する。

試験に関する配慮について

- 試験前に外国人も日本人も一緒に勉強の仕方などを教えてもらう時間を作る。
- 試験問題の漢字に振り仮名をつける。

日本語以外の言語の力の活用

- 通訳・翻訳者を雇う。
- 授業でわからなかったことを自分たちの言葉で説明してくれる人を雇い、その人と学ぶ時間を設定する。

その他

- シラバスの一部を英語等で生徒に渡す。
- すべての生徒が英語以外の外国語を学べるようにする。
- WiFi環境でiPadの翻訳機能を使って試験を受けられるようにする。
- 普段の授業で言葉の意味をやさしい日本語で説明する。
- 英語等でテストが受けられるようにする。
- 日本語の勉強の時間を増やす。
- 外国人生徒が孤立しないよう、外国人生徒が何人か一緒になるようにクラス分けをする。

期末考査

今回特別に点数が高かった
というわけではない...
※ただし、授業の感想を書く最終問題
(作文) が白紙の生徒はいなかった

令和5年度3学期期末考査 1年 キャリアアップ (日本語)
2月16日 (金) 5-6 限実施 授業担当者: 岡田、青木

____年 ____組 名前 _____

1. 「要望書」とは何ですか。英語/ポルトガル語/やさしい日本語の中から一つの言語を選んで説明しなさい。

2. 次の文の漢字の読み方をすべて書きなさい。

要望の趣旨 (現状)

高岡向陵高校には、外国ルーツの生徒が約40人います。しかし、外国ルーツの生徒の一部は、授業中、先生の説明が理解できません。また、テストでは、漢字が読めなかったり言葉の意味がわからなかったりして、問題の意図を理解することができません。その結果、本来の力が発揮できず、不当に低い評価を得ています。

要望の理由 (根拠)

- 第二言語である日本語で教科の学習をするためには、日本語の学習言語の力が必要です。____、学習言語の習得には、適切なサポートがあっても

5~7年かかると言われています。5~7年も不利な状況で学び続けているにもかかわらず、外国ルーツの生徒には十分なサポートや配慮がありません。

- 外国ルーツの生徒の多くは、学校では日本語を使っていますが、家庭では日本語以外の言語を使っています。____、日本人家庭で自然に学ぶような日本語の表現や言葉遣いを知りません。____、日本の学校での学習について、家庭でのサポートを受けることができません。
- 高岡向陵高校には、多くの外国ルーツの生徒がいますが、日本人生徒を前提とした指導方法や評価方法しか用いられていません。外国ルーツの生徒は日本語以外の言語の力を持っていますが、学校ではその力を活かすこともできません。

3. 上の要望書の文章の____の中に、次の____の中から適切なことば(接続詞)を選んで書きなさい。

そこで、また、なぜなら、そのため、しかし、なお、つまり

令和5年度3学期期末考査 1年 キャリアアップ (日本語)
2月16日 (金) 5-6 限実施 授業担当者: 岡田、青木

4. 次の言葉の対義語(反対の意味の言葉)を書きなさい。

(1) 不利 ↔

(2) 必要 ↔

5. 次の漢字を使った言葉を書きなさい。(「要望」「評価」を除く)

(1) 望

(2) 価

6. 次の言葉を使って、短い文を作りなさい。

(1) 不当

(2) 適切

7. 次の要望の内容をどんな順番で並べたら良いか考えて、その順番で記号を書きなさい。グループに分けてもいいです。いらない要望があったら、線を引いて消してもいいです。

- (ア) 通訳・翻訳者を雇う。
- (イ) 日本語の勉強の時間を増やす。
- (ウ) シラバスの一部を英語等で生徒に渡す。
- (エ) 英語等で試験を受けられるようにする。
- (オ) 試験問題の漢字に振り仮名をつけ、WiFi環境でiPadの翻訳機能を使って試験を受けられるようにする。
- (カ) ポルトガル語等(各生徒に対応する言語)と日本語のセットで問題集や解説書を用意する。
- (キ) 外国人だけのクラスを作る。
- (ク) すべての生徒が英語以外の外国語を学ぶようにする。
- (ケ) 授業でわからなかったことを自分たちの言葉で説明してくれる人を雇い、その人と学ぶ時間を設定する。
- (コ) 音声の翻訳アプリを授業中に使用することを認める(イヤホンを使用する)。
- (サ) 授業中のプリントに振り仮名やポルトガル語等の翻訳をつける。
- (シ) 言葉の意味をやさしい日本語で説明する。

変えたこと

授業内での生徒の言語使用は
質・量ともに上がった（実感）

→ **方法と内容**

- 何をやっているか意味がわからない
⇒ **目標を具体的な行動に落とし込む**
- iPadですべてやろうとしているが、何も覚えられない
⇒ **iPadの利用は主に翻訳や情報の探索・整理に**
- みんなが同じことをすれば、もっと覚えられることも多い
⇒ **クラス共通の目標を持つ**
- 2グループくらいで話し合う方がよい
⇒ **ペアワーク、グループワーク、全体ディスカッションをメイン活動に**
- 授業でもっと覚えた日本語を使いたい
⇒ **言語項目の学習とワーク・ディスカッションの内容をリンク**
- 漢字の学習は宿題でよい
⇒ **優先順位を下げ、目標達成に必要な漢字の学習へ**

- 日常生活で感じたり考えたりしていること
- 生徒自身の**利害関心**に基づいていること

類似の活動との違い

結果的に、キャリアアップ日本語（2年）はこのねらいに沿った活動となった

- 批判的に考える
- 民主主義のプロセスを学び、行動することをねらいとした活動

アレッセ高岡 市民性教育講座

政府に届け！ 私たちの声

入国管理庁「外国人との共生施策」
パブリックコメント・ワークショップ

2022年4月16日 | 10:00~11:30

高岡市守山町35 ニッセンビル1F

あなたの声を
きかせてください！
多様な人たちが暮らす
私たちの地域の未来を
いっしょに考えましょう！

日本政府は
外国人住民のこと
どう思っているの？

日本（国）がこんなに自分たちのことを考えてくれているなんて思わなかった！

両者の違いは、

- 日常生活で感じたり考えたりしていること
- 生徒自身の**利害関心**に基づいていることを（再）**出発点**に据えたかどうか

生徒の今ある言葉の力を活かしつつさらに**高度な言葉の力**へと伸ばしていく授業づくりの大きなヒントを得た

私のビリーフの明確化：理不尽な現実を民主的な方法で良い方向へ変えていく言葉の力

入管庁「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ案」の内容（概要）を説明